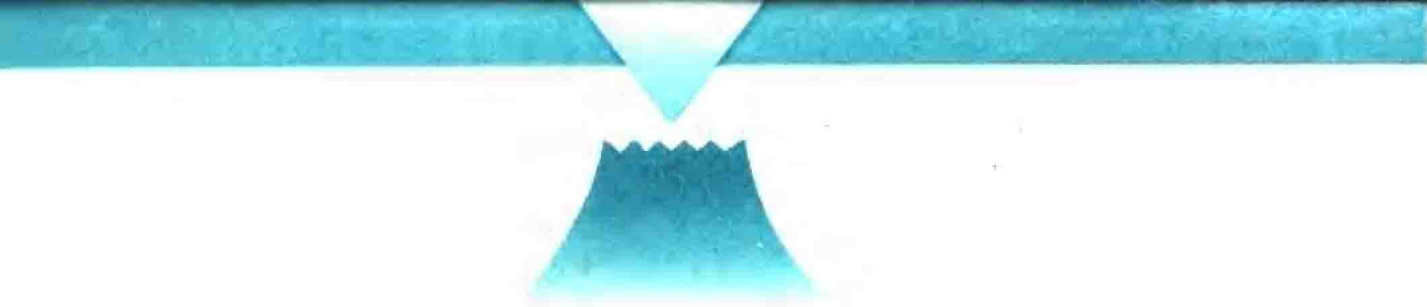




研究生日语教程

(综 合 本)

主编 孟瑾



吉林大学出版社

研究生日语教程

(综合本)

顾问 淀川徳

主编 孟 瑾

副主编 傅羽弘

王 力

杨晶鑫



吉林大学出版社

研究生日语教程

(综合本)

主编 孟 瑾

责任编辑、责任校对:郑贤花

封面设计:张沐沉

吉林大学出版社出版
(长春市东中华路 37 号)

吉林大学出版社发行
吉林农业大学印刷厂印刷

开本:787×1092 毫米 1/16

1998 年 7 月第 1 版

印张:23.375

1998 年 7 月第 1 次印刷

字数:399 千字

印数:1—2 000 册

ISBN 7-5601-2140-3/H·191

定价:24.00 元

前 言

随着教学改革的不深入，高校研究生教育也有了突飞猛进的发展，旨在培养应用型人才的在职人员申请硕士学位班（课程进修班）已在全国普及，并初具规模。在校硕士生、博士生的教育规模也逐年扩大。为了适应形势的发展，我们经过多年教学实践和经验总结，编写了这本《研究生日语教程》（综合本）。

该教程分三个部分：

第一部分从第 1 课至第 10 课，每课两篇文章，共计 20 篇文章。是以课程进修班为教学对象的教材。主要目标是达到在职攻读硕士学位的学生通过全国外语统一考试的水平。

第二部分从第 11 课至第 28 课，为在校硕士研究生用教材，共计 18 篇文章。这部分是硕士研究生必修的学位课程。主要目标是通过学习达到日本语能力测试（JPT）二级水平；全国日本语水平考试（WSK）所要求的标准。

第三部分从 29 课至 35 课，是在校博士生必修学位课程，主要目的是在硕士生日语水平的基础上进一步提高日语水平，扩大阅读量。

该教材的特点是教学目的明确，内容系统，深入浅出，配套齐全。在第一部分中为完成由中级日语向高级日语的过渡，每课后都有详细的语法注释，所有例句都附有汉语译文，便于教学和学员自学。第二部分和第三部分中，为督促学生阅读日语原文，语法注释保持日语原文。在完成基础语法、词法释义的基础上增加了近义词、类义词的比较和语法方面关联词用法的注释，提高学生辨词能力。在整体结构上，各教学单位可以根据本校研究生课程的配置以及课时要求，灵活调整精泛读的比例。

另外，根据教学进度，本教材在不同的阶段还编入了综合练习，以便对学生进行测试，及时调整教学进度。也可以做学生自测练习用。

吉林大学外语部日本专家淀川德教授和吉林大学外语学院院长宿久高教授对该教材的出版给予了热情的关心与指导，在此表示衷心的感谢。

对于本教材的编写如有错误和不当之处，希望同行们批评指正。

编者

1998 年 6 月

序

孟瑾同志主编的《研究生日语教程》(综合本)即将问世,嘱我作序。作为从事日语教育的同行,我有幸先睹《教程》,收益颇多,并多有感想,草此为序。

自1978年恢复研究生招生制度以来,我国的研究生教育经历了起步、发展和不断完善的过程,呈现出学科多、层次全、水平高、规模大的良好局面。为适应社会主义市场经济发展和现代化建设的需要,培养了大量高层次的优秀人才。

二十一世纪国际间竞争的特点之一就是人才竞争。在研究生培养过程中,专业领域的拓展和研究固然重要,但研究生的外语知识、能力和素质将直接影响我国在国际竞争中的地位。因此,加大外语教学力度,编写好的外语教材,拓宽研究生的外语知识面,提高研究生的外语能力和素质,是研究生培养工作的一项极其重要的、迫在眉睫的任务。从这个意义上讲,孟瑾等同志集多年潜心教学之经验,倾注大量心血编写的《研究生日语教程》(综合本)恰恰体现了他们对研究生外语教育发展态势的整体关注和前瞻,确实难能可贵。

横观我国研究生教学的现状,就教材而言,多以临时选材应之,少有系统的、成型的固定教材面世。孟瑾等同志编写的这部教材,可谓适应新形势的杰作,可喜可贺。

本教材以在职申请硕士学位人员、在校硕士研究生、博士研究生三个层次为对象,三部分内容既各具特色,又浑然一体。编写目的明确,结构科学合理、内容系统丰富,解释深入浅出,程度循序渐进,形式灵活多样。编者考虑到学生的外语认知规律,在第一部分的语法解释中使用了汉语,例句附汉语译文;根据进度,在第二部分释意采用日语原文,在第三部分增加了词义辨析等内容。综合练习部分试题主、客观题搭配适度,有的放矢,目的性强,对提高学生日语水平大有裨益。以上种种,都是该教材的特点所在。

另,准确的解说和释义,足以窥见编者的中日文功底之一斑,也使该教材具备了较高的学术价值。对日语学科建设和研究生教学无疑具有积极的作用和指导意义,定会对我国的研究生日语教学做出积极的贡献。

宿久高

1998年6月20日

目 次

第一部分

第1課

文章1 恩師……………1

文章2 敬語……………1

第2課

文章1 禅ブーム……………13

文章2 祭り……………14

第3課

文章1 めがね……………23

文章2 サラリーマンの勉強会……………24

第4課

文章1 中村さん……………29

文章2 雪……………30

第5課

文章1 身上相談……………40

文章2 矛盾……………41

第6課

文章1 喫茶店……………47

文章2 パッチ・テスト……………48

第7課

文章1 兵法……………54

文章2 心安らかに空を仰ぎたい……………55

第8課

文章1 捨てる神拾い神……………62

文章2 嫌速嫌音……………64

第9課

文章1 年中行事と信仰……………73

文章2 国の友への手紙……………74

第 10 課	
文章 1 伴いを慕う心	81
文章 2 情けと法律	82
総合練習問題 (一)	88
第二部分	
第 11 課 日本人の質問	95
第 12 課 病院での出来事	103
第 13 課 知能と本能	114
第 14 課 外国人と身振り	121
第 15 課 日向	129
総合練習問題 (二)	139
第 16 課 なぜ山に登るか	146
第 17 課 水の東西	155
第 18 課 おふくろの筆法	164
第 19 課 待つ	170
第 20 課 兄弟	176
総合練習問題 (三)	185
第 21 課 袍	193
第 22 課 「天声人語」選	201
第 23 課 雉の儀式	207
第 24 課 智恵子の空	212
第 25 課 南のバイオリンと二つの演歌	221
第 26 課 何でも見てやろう	227
第 27 課 旅について	234
第 28 課 陰影の美	242
総合練習問題 (四)	247
第三部分	
第 29 課 城の崎にて	255
第 30 課 エッフェル塔	262
第 31 課 身体に関する言い回し	269
第 32 課 日本人の知性	273

総合練習問題（五）	280
第 33 課 ひよこの眼	288
第 34 課 日本の風土	295
第 35 課 蛍	305
総合練習問題（六）	310
 単語表索引	 318
キーワード索引	350
練習問題の参考答案	361

第 1 課

文章 1 恩 師

先日、ある会合で、数年ぶりに、大学時代の恩師佐々木先生にお目にかかった。お目にかかって、はじめて、ずいぶんご無沙汰していたことに気がつき、赤面した。それにしても先生が、相変わらずお元気なのに驚きもし、喜びもした。会合の後で、会場の近所にある、ある喫茶店にお供し、同級生や、先輩、後輩などの話をして楽しい時間を過ごした。以前、先生はお酒がお好きだったので、そのことについてお伺いすると、今はもうお飲みにならないとのこと。昨年の夏、胃の手術を受けられて以来、絶対に召し上がらないことになさったとのこと、驚いてしまった。最後に正月には友人とお邪魔することをお約束して、お別れした。

最近、大学が世にあふれ、マス・プロ教育の害が大きな問題になっている。ある大学に通っていた友人の話によると、自分の先生の顔も知らずに単位を取ってしまったなどという人もあるそうだ。このように教師と学生との関係が希薄になっている現在、恩師と考えることのできる人を持つ私は、なんと幸福な人間であろうか。「恩師」という言葉が、教師と学生との間の封建的関係を意味すると言って嫌う人もいるそうだが、それよりも、教師と学生との関係の希薄のほうが、現在の日本の大学教育の持つ大きな問題ではあるまいか。

文章 2 敬 語

私たちがものを言うとき、一人言は別として、必ず話し相手があり、また、話題になる物事があります。その話し相手が目上の人であったり、話題の中に出てくる人が尊敬すべき人であったりすると、同じ意味のことを言うのにも、日本語では、いろいろと特別な言い方をします。これが敬語です。

次の会話でも分かるように、敬語には尊敬語、謙譲語、丁寧語がありますが、二人はそれらを上手に使い分けて話しています。

木村「昨日の日曜日、どこかへいらっしゃいましたか。」

上田「はい、昼から新宿へ買い物にまいりました。」

木村「そうですか。何をお買いになりましたか。」

上田「あした、先輩の田中さんの誕生日なので、お祝いに花瓶をお贈りしよう
と思って、買いました。」

木村「その方はきっと喜ばれるでしょうね。」

上田「ところで、先日、弟さんからお電話をいただきましたが、近く弟さんは
外国へ行かれるそうですね。」

木村「ニューヨークに新しい支店ができたので、転勤することになったと申し
ておりました。出発は来月五日だそうです。」

上田「ご出発の前に一度お目に掛かりたいものですね。ニューヨークにはアメ
リカ人の友人がおりますので、紹介状を書いてさし上げましょう。」

木村「それはどうもありがとうございます。それでは、さっそく弟を伺わせま
すからよろしく願いいたします。」

上田「お待ちしております。」

上の会話には、いろいろな形の敬語が使われていますが、これらはどういう
時に使うか、また、どのようにしてそれぞれの形を作るかを考えてみましょう。

尊敬語

これは、話し手や話題の人に対して、尊敬の気持ちを表す敬語です。話題の
人や、その人に属する物、事、その人の行為、状態について言う場合に用いま
す。例えば、「先生が外国へいらっしゃいます。」というのは、話題の人を「先
生」と呼び、その人の行為である「行く」を「いらっしゃる」と表現して、そ
の人に敬意を表しているのです。「あなたもいらっしゃいますか。」という場合
は、聞き手がそのまま話題の人になっています。「お子さんはお元気ですか。」
「お帽子をお預かりいたしましょう。」の「お子さん」「お元気」「お帽子」も尊
敬語です。尊敬語の主なものを挙げてみましょう。

一、人を呼ぶ言い方

木村さん、上田先生、田中様、山口殿、竹下氏…

二、人に属する物、事について言う言い方

お（考え）、おん（身）、ご（意見）…

例外もありますが、原則として「お」は和語に、「ご」は漢語につきます。

三、人の好意、状態について言う言い方

①特別な形

いらっしゃる	(行く、来る、いる)
おっしゃる	(言う)
なさる	(する)
くださる	(くれる)
めしあがる・あがる	(食べる・飲む)
ご覧になる	(見る)

②「お」「ご」+動詞の連用形+「になる」という形

お書きになる	(書く)
お読みになる	(読む)
ご安心になる	(安心する)
ご出発になる	(出発する)

③動詞に「れる」「られる」をつけるという形

書かれる	(書く)
起きられる	(起きる)
来られる	(来る)
入学される	(入学する)

注：③の形の「書かれる」は②の形の「お書きになる」にくらべて、敬意を表す程度が少し軽くなります。

以上のように尊敬語にはいくつかの型があり、それによって敬意の程度を表すことができるのです。

謙譲語

これは、話し手が聞き手に対して、自分自身、または話題になっている自分の身近な者、例えば、家族や親しい仲間などの行為を謙遜して言う言い方の敬語です。

①わたくしは来月、九州へ参る予定です。

②弟はあした出発すると申しております。

③先日、母が石田先生にお会いしました。

①の自分のことを「わたくし」と表現し、行くことを「参る」と謙遜した表

現をして、聞き手に敬意を表しています。この場合、話し手自身が話題の人になっています。②の場合も①と同じように、弟の行為「言う」を「申す」と謙遜して、聞き手に敬意を表しています。③については、話題の人「母」の行為を「お会いする」と謙遜して、母の相手である「先生」に敬意を表しています。謙譲語は話し手側（家族、仲間など）を話題の人にするときに使われる場合が多いので、尊敬語と取り違えないように、特に注意してはなさなければなりません。

一、人を呼ぶ言い方

わたくし、わたくしども、小生…

二、人の動作について言う言い方

- | | |
|----------|------------|
| ① おる | (いる) |
| まいる | (行く、来る) |
| 申す・申し上げる | (言う) |
| 差し上げる | (あげる) |
| いただく | (もらう) |
| 伺う | (訪ねる、質問する) |
| お目にかかる | (会う) |
| 拝見する | (見る) |
| いたす | (する) |
- ② 「お」「ご」＋動詞の連用形＋「する（いたす）」という形
- | | |
|----------------|--------|
| お知らせする・お知らせいたす | (知らせる) |
| お待ちする・お待ちいたす | (待つ) |
| ご連絡する・ご連絡いたす | (連絡する) |
| ご紹介する・ご紹介いたす | (紹介する) |

ただし、これは、自分あるいは自分の側に属する者の行為が相手に関係する場合だけに使える言い方です。

丁寧語

これは、話題の人の行為を尊敬して言い表わしたり、謙遜して言い表わしたりするのと違って、物事を丁寧に言うことで、相手に敬意を表す言葉です。また、物事について上品に、優しく言い表す場合にも用いられます。

- ①これが弟の写真です。
- ②わたくしの妹でございます。
- ③お寒い日ですね。
- ④この辺でよろしいでしょう。
- ⑤雨が降って参りました。
- ⑥準備ができております。
- ⑦これはどこで取れたお米ですか。
- ⑧この動物園には象もライオンもおります。
- ⑨何か変な音がいたしますよ。
- ⑩仙台には青葉城がございます。

上の文を見ても分かるように、丁寧語の多くは謙讓語から生まれてきているので、丁寧にする主体は自分側にある場合が多いと言えるでしょう。

以上、敬語について説明してきましたが、敬語は、時と場合によって使い分けないと、かえって相手に失礼になることもありますから、気をつけて話しましょう。

敬意を表すものとして、敬語はもちろんですが、静かな話し方、おだやかな表情、一生懸命に相手の話を聞く態度なども大切なものとなっています。

単語表

せんじつ〔先日〕	(名・副)	前些日子
かいごう〔会合〕	(名)	集会
すうねんぶりに〔数年ぶりに〕	(詞組)	隔了几年又……
おめにかかる〔お目にかかる〕	(詞組)	见面, 见到
ごぶさたする〔ご無沙汰する〕	(詞組)	好久未见
きがつく〔気がつく〕	(詞組)	察觉, 发现
せきめんする〔赤面する〕	(自サ)	脸红, 难为情
あいかわらず〔相変わらず〕	(副)	仍然, 老样子
おどろき〔驚き〕	(名)	吃惊, 惊讶
よろこび〔喜び〕	(名)	快乐, 高兴, 喜悦
きっさてん〔喫茶店〕	(名)	咖啡馆, 西式茶馆

おともする〔お供する〕	(詞組)	陪伴, 陪同
すごす〔過ごす〕	(他五)	度, 度过
ぜったいに〔絶対に〕	(副)	绝对
ゆしあがる〔召し上がる〕	(他五)	吃, 喝, 饮
さいごに〔最後に〕	(副)	最后
しょうがつ〔正月〕	(名)	新年, 正月
おじゃまする〔お邪魔する〕	(詞組)	打搅
おやくそくする〔お約束する〕	(詞組)	约好, 约定
おわかれする〔お別れする〕	(詞組)	分别, 离别
よ〔世〕	(名)	世, 世上
あふれる〔溢れる〕	(自下一)	溢, 满, 充满
マス・プロ教育〔mass production〕	(名)	用上大课的方式进行教育
かよう〔通う〕	(自五)	来, 往, 上(班、学)
たんい〔単位〕	(名)	学分
とる〔取る〕	(他五)	取, 取得, 拿
きはく〔希薄〕	(名・形動)	淡薄, 稀薄, 冷淡
こうふく〔幸福〕	(名・形動)	幸福
ほうけんてき〔封建的〕	(詞組)	封建的
かんけい〔関係〕	(名)	关系
いみする〔意味する〕	(他サ)	意味着, 带着
きらう〔嫌う〕	(他五)	讨厌, 厌恶
きはくか〔希薄化〕	(名)	淡薄化, 淡薄起来
ひとりごと〔一人言〕	(名)	自言自语
めうえ〔目上〕	(名)	上司, 长辈
そんけい〔尊敬〕	(名)	尊敬, 敬重
けんじょうご〔謙讓語〕	(名)	谦让语
ていねいご〔丁寧語〕	(名)	郑重语, 敬语, 客气说法
つかいわける〔使い分ける〕	(他下一)	分开使用, 适当地使用
してん〔支店〕	(名)	分店
てんきん〔転勤〕	(名)	转职, 调动工作

ぞくする〔属する〕	(自サ)	属, 属于
もちいる〔用いる〕	(他上一)	用, 使用, 采用
じぶんじしん〔自分自身〕	(名)	自己
したいしい〔親しい〕	(形)	亲近, 亲密
しょうせい〔小生〕	(名)	小生, 鄙人
もうしあげる〔申し上げる〕	(他下一)	说, 讲
はいけん〔拝見〕	(名・他サ)	看, 瞻仰
しろ〔城〕	(名)	城, 城堡

キーワード

1. 「…ぶり」(接尾词)“情况, 样子”“隔了一段时间又……”。接在名词、动词连用形下, 表示样子、情况、时间的经过。在本课文中是“隔了一段时间又……”的意思。多用于个人的经历, 体验。

参考例文:

- ① 去年の夏、故郷へ行ってみた。十数年ぶりだったと思うが、田舎は変わって
いなかった。／去年夏天, 我回家一趟。虽说时隔十多年, 可家乡面貌依然如故。
- ② A: 「夕べ、お友達がいらっしゃったそうですね。」／听说昨晚您的朋友来了。
B: 「ええ、五年ぶりですから、話すことがたくさんあつて、なかなか眠れ
ませんでしたよ。」／是的, 有五年没见了, 要说的话很多, 怎么也没能睡。
- ③ ずいぶん久しぶりですね、お元気ですか。／好久没见了, 你好吗?
- ④ 3年ぶりに便りをよこした。／时隔三年, 才寄来了信。

2. 「…てはじめて」“……之后, 才……”。

参考例文:

- ① 外国へ行ってはじめて、自分の国の良さが分かる。／到了外国, 才知道自
己国家的好处。
- 2 休暇を取ってはじめて、疲れていたことが分かった。／请了假以后, 才感
到自己身体的疲乏。
- ③ 相手が黙って立ち上がったのを見てはじめて、失礼なことを言ってしまった
のに気がついた。／看到对方默默地站了起来, 才发觉自己说了失礼的话。

4 親のありがたさは死なれてみてはじめて、分かるものだ。／父母的恩惠，往往是在失去父母之后才体会得到的。

3. 「それにしても」(接続詞) 接前文, 表示“与前文虽然没有直接的关系, 但间接地令人联想到一些事情”, 从而引出下文, 表达说话人本身的判断和感情。
“话又说回来”“即使那样……”“尽管如此……”。

参考例文:

- ① A: また山で学生が遭難したんだそうですね。／听说又有学生在山上遇难了。
B: ええ、五人ともだめだそうです。／是的, 听说五个人都完了。
A: そうですか。それにしても、このごろ事故で死ぬ人が多いようですね。
／是吗? 话又说回来, 最近因事故好像死了不少人呢。
- ② A: ずいぶん涼しくなりましたね。／天已经很凉了。
B: 蝉の声もあまり聞こえなくなりましたね。／蝉声也几乎听不到了呢。
A: それにしても、あの人が遅いね。／话又说回来, 那个人也真够慢的。
- ③ A: この国語辞典はよくできてますね。／这本国语辞典编的很好啊。
B: ええ、しかし、それにしても、似た意味の言葉って多いものですね。
／是的, 不过话又说回来, 意义相近的词可真多啊。
- ④ 日本の物価はとても高い。それにしても、土地の値段は高すぎる。／日本的物价很高。尽管如此, 土地的价格也过高了。
- ⑤ 日本生まれとは聞いていたけれど、それにしても、スミスさんの日本語は上手ですね。／听说出生在日本, 即使那样, 史密斯的日语也够好的了。
- ⑥ 学歴社会で塾が流行するのは分かるが、それにしても、幼稚園に行く前から塾に行くなんて。／我知道在学历社会很流行私塾, 尽管如此, 在入幼儿园之前就去私塾, 也太……。

4. 「…に (驚き)」(格助词「に」表示诱因) 后接心理活动的动词或形容词表示原因。

参考例文:

- ① 彼女は人生に疲れて自殺した。／她感到人生疲惫, 自杀了。
- ② 驚いたことに、彼は十歳の時このすばらしい曲を作りました。／太让人吃惊了, 他在只有十岁的时候就作出了这首优秀的曲子。

- ③突然の出来事に面食らう。／因突发的事件而感到惊惶失措。
- ④お金に困る人が多い。／很多人为钱所困。

5. 「…について」“关于……”“就……”。

参考例文：

- ①戦争についてどうお考えになりますか。／关于战争,您怎么想?
- ②田中先生は子供教育について、すばらしい論文を発表されました。／田中先生关于孩子教育的问题,发表了优秀的论文。
- ③子供一人について手当が5千円出る。／一个孩子给五千元津贴。
- ④一冊について百円安くする。／一本书便宜一百元。

6. 「とのことだ」转达别人说的事情。限于转达特定的人的话。“据说……”“听说……”。

参考例文：

- ①教師：「工藤先生はお元気でしたか。」／工藤先生身体好吗？
学生：「はい、先生によろしくとのことでした。」／很好,他让我代问您好。
- ②お医者さんは今年中はあまり仕事をしないで、休むようにとのことでした
／医生说今年一年要少工作,好好休养。
- ③竹井とおっしゃる方から、さきほどお電話がありまして、明日の会合には失礼するとのことでした。／一位叫竹井的先生方才来电话,说不能参加明天的集会了。
- ④来年は日本へ帰っておいでになるとのこと、お待ちしております。／听说明年您回日本来,我等着您。

7. 「…そうだ」(伝聞助動詞)“听说”。接用言、部分助动词终止形后,表示传闻。

参考例文：

- ①天気予報によると、明日雨だそうです。／天气预报说明天要下雨。
- ②先生の話では、明日の試験は来週に延ばしたそうです。／听教师说明天的考试延迟到下周。